

つながる・ひろがる 学校図書館－アイヌ文化体験イベント－

香川県立高松桜井高校生徒図書委員会は、3学年×各クラス2名、計42名の”精鋭”が集う組織です。任期は一年間で、年2回のブックハント(書店での選書活動)や読書ロングホームルームの運営等、様々な活動に取り組んでいます。

今年度は、読書活動に関する研究指定を受けたこともあり、「つながる・ひろがる学校図書館」を合言葉に、より充実した活動を模索しています。そのひとつが、(公財)アイヌ民族文化財団が運営するウポポイ(民族共生象徴空間)と連携した「ウポポイ・ライブラリー」です。アイヌ民族に関連する書籍を希望する学校に半年間無料で貸し出しをする事業で、新学期4月早々に、50冊の本が届きました。図書館入口すぐ横の目立つ場所に常設展示し、図書室だよりでの紹介や、図書委員が率先して借りる等で、学校全体を盛り上げました。そうした「ウポポイ・ライブラリー」事業の最後を飾るのが、今回の「アイヌ文化体験イベント」です。内容は、ウポポイのスタッフが二人来校し、「アイヌ神話／民話絵本の読み聞かせ」と「アイヌ民族楽器演奏」等になる予定です。”県下の高校初”の特別な機会になりますので、ぜひ取材に来ていただけたら幸いです。

1. 日 時 令和7年10月23日(木) 16:30～17:30
2. 場 所 香川県立高松桜井高校 高松市多肥上町1250番地
3. 主 催 高松桜井高校(生徒図書委員会)・公益財団法人アイヌ民族文化財団



ウポポイ・ライブラリー展示の様子(図書館入口と実際の展示風景)



ライブラリー活用例